

KAYABA RALLY TEAM

2026 ALL JAPAN RALLY CHAMPIONSHIP REPORT #7

2026/9/25~27 福島県伊達市/南相馬市

Rd.7

MSCCラリー

in 福島伊達2026



スペシャルステージ

SS数: 12
路面: ターマック

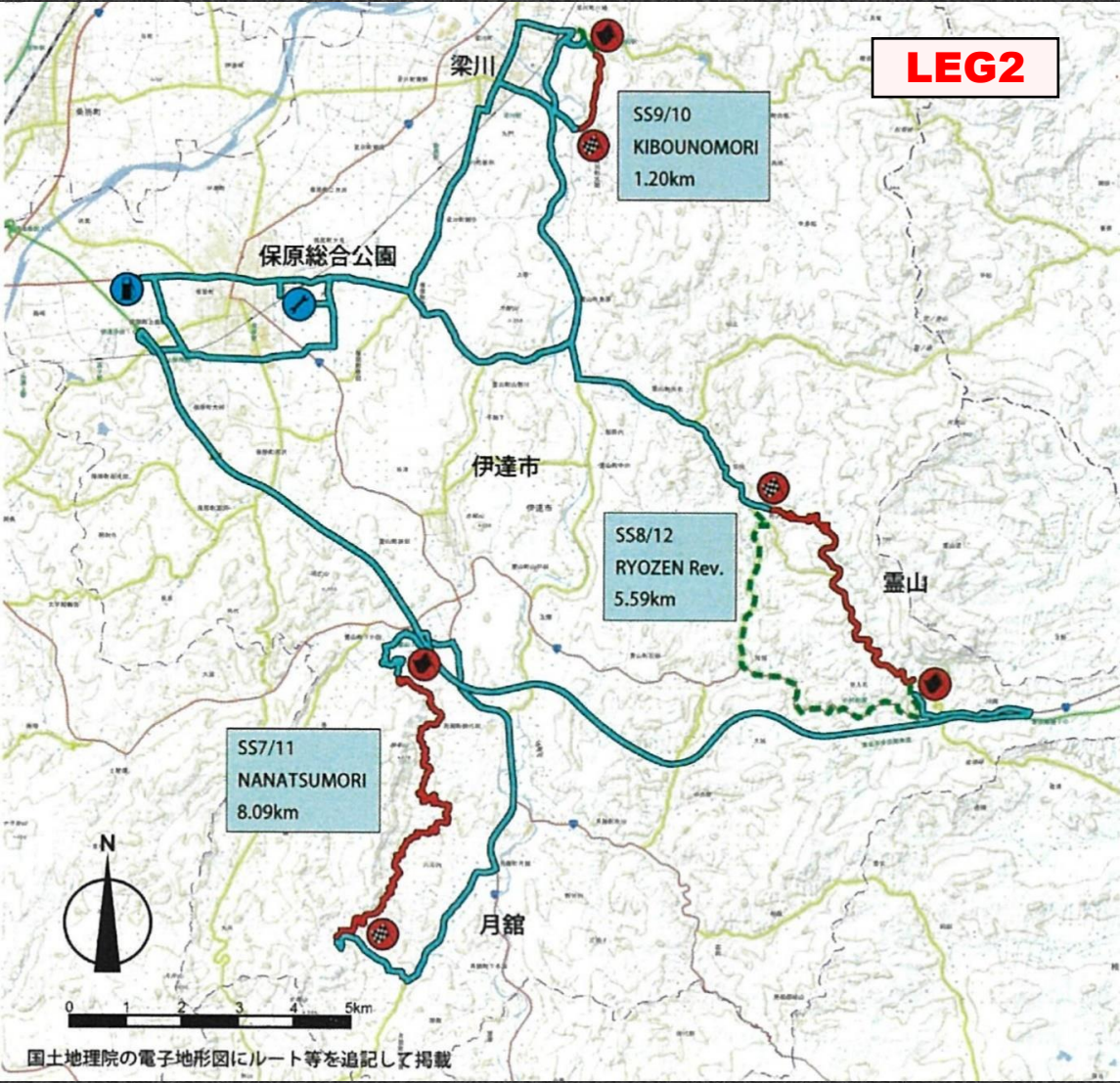
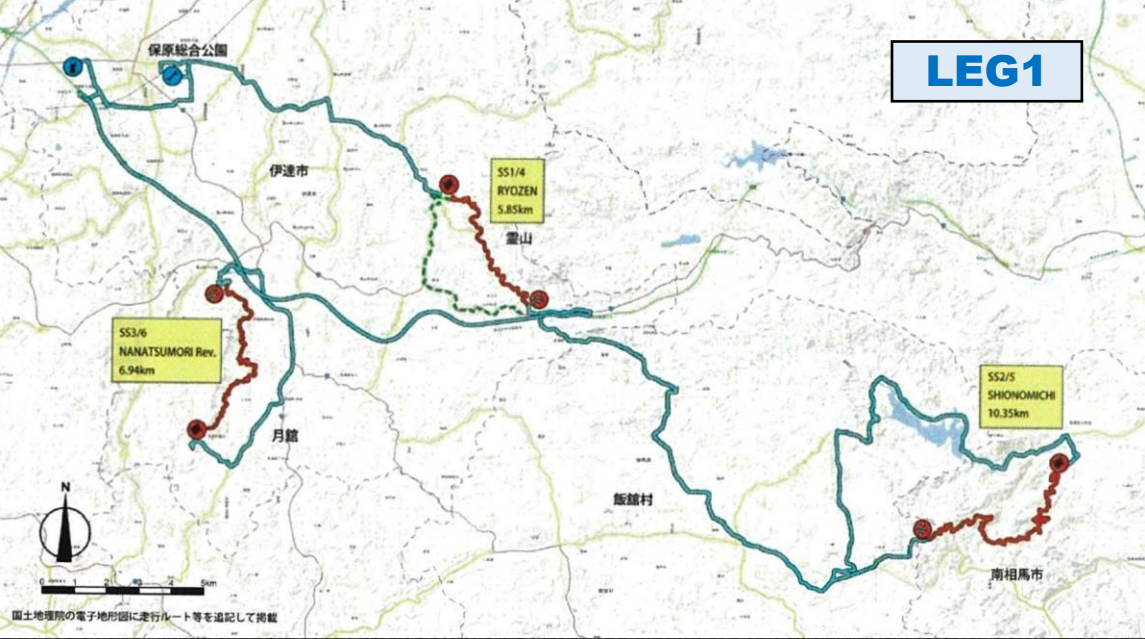
総走行距離: 417.65 km
SS距離: 76.04 km

LEG1 9/26(土) 天候: 雨 / 路面: ウェット			LEG2 9/27(日) 天候: 小雨 / 路面: ハーフウェット		
SS1	RYOZEN 1	5.85 km	SERVICE C (15 min)		
SS2	SHIONOMICHI 1	10.35 km	SS7	NANATSUMORI 1	8.09 km
SS3	NANATSUMORI Rev. 1	6.94 km	SS8	RYOZEN Rev. 1	5.59 km
	SERVICE A (30 min)		SS9	KIBOUNOMORI 1	1.20 km
SS4	RYOZEN 2	5.85 km	SERVICE D (30 min)		
SS5	SHIONOMICHI 2	10.35 km	SS10	KIBOUNOMORI 2	1.20 km
SS6	NANATSUMORI Rev. 2	6.94 km	SS11	NANATSUMORI 2	8.09 km
	SERVICE B (45 min)		SS12	RYOZEN Rev. 2	5.59 km

SS1/4	NEW RYOZEN	伊達市を代表する名峰・霊山周辺を駆ける。約1.4km地点からセンターラインのある2車線道路へ変化し、以降は高速コーナーが連続する今大会屈指のハイスピードステージ。緩く長いコーナーが多く、速度を落としすぎないことが重要。
SS2/5	NEW SHIONOMICHI	かつて馬で塩などを運んでいた「塩の道」を通る、南相馬市の狭い林道ステージ。曲率が変化する複合コーナーが多く、ペースノートの精度が特に重要。雨が降ると滑りやすくなる路面補修箇所も多く、路面状況の見極めも求められる。
SS3/6	NEW NANATSUMORI Rev.	低速コーナーが主体の林道ステージ。木陰が多く水はけが悪いため、路面が乾きにくい。泥やコケ、湧き水など、滑りやすい要素が多く点在する。
SS7/11	NEW NANATSUMORI	SS3/6を逆走し、さらに約1km延長されたステージ。LEG1の走行で路肩の泥が路面にかき出され、コーナー進入側のブレーキングポイントも滑りやすくなっており、LEG1のSS3/6以上に難易度が高い。
SS8/12	NEW RYOZEN Rev.	SS1/4を逆走する。ところによって雨水が道路を横断して流れる箇所があるほか、クレストを伴う見通しの悪いコーナーも多く、荷重変化への対応や姿勢づくりが重要。後半の狭い区間は急な下りが続き、丁寧なブレーキコントロールが必要。
SS9/10	NEW KIBOUNOMORI	伊達市の「やながわ希望の森公園」の園内路を使用した、多くの観戦者が集まるショートステージ。緩いコーナーが続き速度が乗りやすい。道幅が狭く側溝もあり、インカットで泥が路面に出やすいなど、短いながらも高難易度のステージ。



全体図



チーム体制



- 監督 : 梶本 一憲
- リーダー : 大西 一智 (第2期)
- ドライバー : 石黒 一暢
- コ・ドライバー : 穴井 謙志郎
- メカニック : 増谷 大志
- 松田 幸也
- 三國 大河
- 北原 由享 (第2期)
- エンジニア : 古川 優太 (第2期)
- マネージャー : 池戸 敬也 (第2期)
- チームアドバイザー : 奴田原 文雄 (NUTAHARA Rally Team)
- メカニックアドバイザー : 山田 淳一 (RUTS RACING)



リザルト

クラス7位 / 総合15位 (JN-1クラス11台 / 総合58台 参加)

クラス	No.	Dr.	Co-Dr.	参加車両名	車両型式	車両区分	LEG 1							LEG 2							総合計	クラス 順位	総合 順位		
							SS1	SS2	SS3	SS4	SS5	SS6	Penalty	合計	SS7	SS8	SS9	SS10	SS11	SS12				Penalty	合計
JN-1	52	新井 大輝	立久井 大輝	R2R×YAHAGI GRヤリスラリー2	MXPA12	FIA	3:47.9	8:26.3	5:39.9	3:44.3	8:09.1	5:41.2		35:28.7	6:32.5	3:39.1	0:50.5	0:51.6	6:31.4	3:37.8		22:02.9	0:57:31.6	1	1
JN-1	51	鎌田 卓麻	松本 優一	Castrol TEIN DUNLOP ファビア	ABCUFX11	FIA	3:49.8	8:31.1	5:51.1	3:47.1	8:20.2	5:41.4		36:00.7	6:41.4	3:39.8	0:51.4	0:53.3	6:41.8	3:40.5		22:28.2	0:58:28.9	2	2
JN-1	54	勝田 範彦	保井 隆宏	ラックルーキー-DLGRヤリスRally2	MXPA12	FIA	3:55.2	8:48.1	5:52.0	3:48.4	8:26.5	5:51.5		36:41.7	6:44.1	3:37.6	0:52.9	0:54.4	6:44.9	3:37.7		22:31.6	0:59:13.3	3	3
JN-1	53	奴田原 文雄	東 駿吾	ADVAN KTMS GRヤリス Rally2	MXPA12	FIA	3:52.1	8:41.0	5:55.6	3:50.9	8:31.2	5:53.4		36:44.2	6:47.7	3:47.2	0:52.6	0:53.0	6:46.2	3:44.1		22:50.8	0:59:35.0	4	4
JN-3	55	山田 啓介	藤井 俊樹	FIT-EASYソミック石川DLGRヤリス	GXPA16	RJ	3:55.8	8:42.3	5:53.2	3:52.8	8:41.5	5:59.1		37:04.7	6:52.8	3:42.1	0:53.8	0:57.3	6:55.6	3:47.9		23:09.5	1:00:14.2	1	5
JN-1	68	福永 修	齊田 美早子	スミロン焼肉ふじCTE555DLファビア	ABDKZX11	FIA	3:58.2	8:55.5	5:53.0	3:50.0	8:35.0	5:59.2		37:10.9	6:58.3	3:48.2	0:53.7	0:53.0	6:55.5	3:45.0		23:13.7	1:00:24.6	5	6
JN-3	59	大倉 聡	豊田 耕司	AISIN GR Yaris DAT	GXPA16	RJ	4:05.3	8:51.7	5:56.7	4:01.1	8:42.7	6:02.0		37:39.5	7:00.3	3:48.6	0:53.9	0:56.2	7:02.3	3:52.7		23:34.0	1:01:13.5	2	7
JN-3	63	小泉 敏志	加勢 直毅	MAYA DL クスコ ドリームドライブGRヤリス	GXPA16	RJ	4:05.6	9:04.1	6:03.9	4:04.3	8:51.3	6:03.5		38:12.7	6:57.4	3:54.6	0:57.4	0:57.5	7:02.8	3:54.0		23:43.7	1:01:56.4	3	8
JN-3 (MCC)	70	米林 慶晃	菅野 総一郎	KTMS NRS GRヤリス	GXPA16	RJ	4:00.6	9:01.0	6:07.1	4:01.5	8:57.0	6:09.4		38:16.6	7:02.1	3:51.0	0:57.1	0:58.9	7:09.3	3:46.9		23:45.3	1:02:01.9	4	9
JN-3 (MCC)	64	最上 佳樹	小藤 桂一	FIT-EASY ZEAL GRYARIS	GXPA16	RJ	4:03.5	8:57.7	6:05.0	4:03.3	8:51.7	6:10.2		38:11.4	7:02.4	3:51.8	0:58.9	0:57.5	7:10.9	3:51.0		23:52.5	1:02:03.9	5	10
JN-3	71	具原 聖也	西崎 佳代子	ADVICS多賀製作所K1カヤバGRヤリスDL	GXPA16	RJ	4:02.9	8:56.4	6:01.4	4:02.5	8:54.8	6:04.0	1:00	39:02.0	6:55.9	3:48.6	0:54.6	0:55.4	7:01.1	3:48.0		23:23.6	1:02:25.6	6	11
JN-3 (MCC)	65	三枝 聖弥	木村 裕介	IMSF DL GRヤリス 初号機	GXPA16	RJ	4:06.0	9:02.2	6:08.0	4:01.8	9:10.0	6:10.2		38:38.2	7:07.5	3:54.6	0:54.9	0:56.9	7:17.2	3:57.1		24:08.2	1:02:46.4	7	12
JN-3	61	吉原 将大	村山 朋香	UPGARAGE CUSCO WM DL ヤリス	GXPA16	RJ	4:05.5	9:08.3	6:07.5	4:06.5	9:03.1	6:13.8		38:44.7	7:05.6	4:12.3	0:59.3	0:58.5	7:11.9	3:56.0		24:23.6	1:03:08.3	8	13
JN-1	60	松岡 孝典	立久井 和子	MATEX-AQTEC DL GRYarisJP4	GXPA16	ASN	4:02.1	9:05.8	5:58.3	4:02.7	8:53.7	5:57.3		37:59.9	6:54.2	3:50.6	0:59.4	0:56.7	6:59.3	3:53.1	1:50	25:23.3	1:03:23.2	6	14
JN-1	58	石黒 一暢	穴井 謙志郎	カヤバ YH GRヤリス	GXPA16	ASN	4:12.9	9:32.7	6:16.1	4:05.2	8:59.8	6:16.1		39:22.8	7:09.3	3:55.7	0:58.1	0:58.2	7:11.5	3:57.4		24:10.2	1:03:33.0	7	15
JN-3 (MCC)	66	松原 周勢	市橋 真由子	RECARO NRS GRヤリス	GXPA16	RJ	4:14.5	9:17.7	6:12.3	4:07.3	9:08.2	6:18.4		39:18.4	7:18.2	3:54.0	0:58.9	0:59.2	7:19.5	3:57.3		24:27.1	1:03:45.5	9	16
JN-4	69	山本 悠太	山本 祐也	Sammy愛知トヨタKoneYHGR86	ZN8	RJ	4:13.1	9:11.0	6:15.3	4:06.0	9:05.5	6:25.3		39:16.2	7:18.2	3:57.7	1:03.3	1:03.0	7:15.9	3:56.3		24:34.4	1:03:50.6	1	17
JN-4	62	山口 清司	澤田 耕一	エナペタルADVAN久興GR86	ZN8	RJ	4:15.5	9:28.5	6:18.1	4:08.5	9:11.6	6:16.9		39:39.1	7:17.8	4:04.0	1:00.5	0:59.5	7:18.7	3:58.2		24:38.7	1:04:17.8	2	18
JN-4	67	渡部 弘樹	横山慎太郎	WinmaX CUSCO DL WURTH 86	ZN6	RJ	4:09.1	9:16.9	6:15.7	4:07.7	9:15.9	6:24.5		39:29.8	7:24.2	3:58.4	1:03.1	0:59.9	7:27.9	3:55.1		24:48.6	1:04:18.4	3	19
JN-3	72	山口 航平	春日 美知子	AQTEC-Wolf DL GR Yaris	GXPA16	RJ	4:12.6	9:17.0	6:21.5	4:06.8	9:15.1	6:24.8		39:37.8	7:29.3	4:01.2	0:59.3	0:59.0	7:27.4	4:01.3		24:57.5	1:04:35.3	10	20

SS1 RYOZEN 1 5.85km走行タイム **4:12.9** ステージ順位：クラス **8位** / 総合 **23位** 合計タイム順位：クラス **8位** / 総合 **23位**

第4戦以来、3か月ぶりとなるターマックラリー。ペースノートを作成する金曜日のレッキは晴天だったが、本番は雨予報となり、濡れた路面を想定したノートづくりが重要となった。ステージ中盤ではフロントガラスが曇り、視界が大幅に狭まるトラブルが発生。終盤には前方がほとんど見えない状態となり、安全を優先してペースダウン。結果としてタイムを大きく落とし、出遅れる展開となった。

**SS2 SHIONOMICHI 1 10.35km**走行タイム **9:32.7** ステージ順位：クラス **7位** / 総合 **27位** 合計タイム順位：クラス **7位** / 総合 **26位**

雨脚がさらに強まる中、スタート直後にクルー間をつなぐインカムにトラブルが発生し、激しいノイズで聞き取りづらい状況に。先行車がリタイアするほど難しい路面で、厳しい走行を強いられた。約3km地点でインカムが完全に機能停止。大きな雨音と車両の騒音の中、ヘルメット越しでも聞こえるよう大声でペースノートを読み上げる。辛うじて内容を伝えながら走り切ったものの、路面にも苦戦しペースが上がらず。

**SS3 NANATSUMORI Rev. 1 6.94km**走行タイム **6:16.1** ステージ順位：クラス **7位** / 総合 **20位** 合計タイム順位：クラス **7位** / 総合 **23位**

インカム不調はスペア品に切り替えて対応し、ペースノートの読み上げがしっかり聞き取れるようになった。雨は弱まるも、いたるところで泥が路面に残り、非常に滑りやすく難しいコンディション。完走を最優先とする中、無理にリスクを負わず、路面状況と車両挙動の把握に集中しながら確実に走破。タイムこそ伸びなかったものの、大きなダメージなく午前のループを終え、サービスへと戻った。

**SERVICE A (30min)****SS4 RYOZEN 2 5.85km**走行タイム **4:05.2** ステージ順位：クラス **7位** / 総合 **15位** 合計タイム順位：クラス **7位** / 総合 **22位**

サービスAではタイヤの前後ローテーションと定常作業を実施。引き続きウェットタイヤで午後のループに臨んだ。雨はほぼ止み、路面コンディションも徐々に回復。午前の走行で得た感触をもとに、自信を持ってステージへ臨んだ。ステアリング、アクセル、ブレーキの入力を滑らかにつなぎ、丁寧な操作を意識。結果、1ループ目のSS1から7.7秒タイムを縮め、路面の回復に合わせて着実にペースを上げた。

**SS5 SHIONOMICHI 2 10.35km**走行タイム **8:59.8** ステージ順位：クラス **7位** / 総合 **13位** 合計タイム順位：クラス **7位** / 総合 **19位**

インカムは正常に機能し、ペースノートの情報を確実に処理しながら走行。午前中より雨は弱まったものの、ワイパーを使用する程度の雨が残り、路面状況には引き続き注意を払った。慎重さを保ちつつ、踏める区間ではしっかりとアクセルを開けるメリハリのある走りを意識。結果、午前のSS2から32.9秒タイムを縮め、苦手としてきた滑りやすいウェット路面でも好タイムを記録し、今後につながる確かな手応えを得た。

**SS6 NANATSUMORI Rev. 2 6.94km**走行タイム **6:16.1** ステージ順位：クラス **7位** / 総合 **16位** 合計タイム順位：クラス **7位** / 総合 **18位**

雨はさらに弱まり、路面もSS3走行時より乾き始めていた一方、インカットによってかき出された泥が目立つようになった。滑りやすい箇所では確実にペースを抑え、乾いた区間ではしっかりとペースを上げるメリハリのある走りを意識。結果、SS3と同タイムを記録した。SS1では総合23位でスタートしたが、安定した走りを重ね、LEG1終了時には総合18位まで順位を上げた。

**SERVICE B (45min)**

SS7 NANATSUMORI 1 8.09km走行タイム **7:09.3** ステージ順位：クラス **8位** / 総合 **16位** 合計タイム順位：クラス **7位** / 総合 **16位**

朝から小雨が降る中、2日目のLEG2がスタート。SS7は、前日にSS3/6として2度走行したステージを逆走する。前日のインカットでかき出された泥が今度はコーナー進入側に残り、ブレーキング時に特に滑りやすい状況となっていた。こうした路面に対応するため、LEG2もウェットセッティングを継続。滑りやすい箇所を見極めて丁寧に走り、総合順位をさらに上げた。

**SS8 RYOZEN Rev. 1 5.59km**走行タイム **3:55.7** ステージ順位：クラス **8位** / 総合 **17位** 合計タイム順位：クラス **7位** / 総合 **16位**

LEG1のSS1/4を逆走で走行する。ハイスピードながら、終盤は狭く急な下り坂が続く。SS7とは異なりインカットできるコーナーが少なく、路面は比較的きれいな状態を維持。濡れた路面に食いつくタイヤの感触を確かめながら丁寧に走行した。丘のような形状のクレストを伴うコーナーで一瞬バランスを崩す場面もあったが、落ち着いて対処し無事に走破。

**SS9 KIBOUNOMORI 1 1.20km**走行タイム **0:58.1** ステージ順位：クラス **7位** / 総合 **13位** 合計タイム順位：クラス **6位** / 総合 **14位**

本ラリー唯一のギャラリーステージ。道幅が狭くインカットポイントも多いため、路面状況に特に注意しながら走行した。フィニッシュ直前の右コーナーでは、前走車がかき出した泥が路面全面を覆っており、ひやりとする場面も。前走車のリタイヤをはじめ、多くのクルーがコースオフする難関ステージとなったが、確実に車両をコントロールし、無傷で走破した。

**SS10 KIBOUNOMORI 2 1.20km**走行タイム **0:58.2** ステージ順位：クラス **8位** / 総合 **14位** 合計タイム順位：クラス **6位** / 総合 **14位**

SS9のリピート。1本目には止んでいた雨も、2本目のスタート前には再び降り始めたため、路面がさらに滑りやすくなっていることを意識してスタート。走行を重ねたことで路面の汚れも一段と悪化し、SS9で特に滑りやすかったコーナーはさらに危険な状況となった。コースオフしないよう慎重に車両をコントロールした結果、若干のタイムダウンを喫したものの、大きなミスなく最小限のロスでまとめた。

**SS11 NANATSUMORI 2 8.09km**走行タイム **7:11.5** ステージ順位：クラス **8位** / 総合 **14位** 合計タイム順位：クラス **7位** / 総合 **15位**

SS7走行時よりもさらに路面は乾き、自信を持ってアタックに臨んだものの、ステージ終盤でエンジントラブルが発生。スロットルを全開にするとエンジンが息継ぎを起こす症状が現れた。症状の悪化を避け、完走を最優先にフルスロットルを封印してペースダウン。無事にステージを走り切ったものの、それまで好感触で走れていただけに、悔しさの残る1本となった。

**SS12 RYOZEN Rev. 2 5.59km**走行タイム **3:57.4** ステージ順位：クラス **8位** / 総合 **19位** 合計タイム順位：クラス **7位** / 総合 **15位**

MSCCラリー最終ステージは、ハイスピードステージ「RYOZEN」の逆走。再び雨に見舞われ路面はウェットに。SS11で発生したエンジントラブルは直前のタイヤウォーミングゾーン（タイヤを温めるために設けられた区間）では再発しなかったものの、再発を警戒し、エンジンへの負荷を抑えながらスタート。滑りやすい箇所ではペースを抑え、リスクを最小限にして確実に走破。クラス7位／総合15位でラリーを終えた。

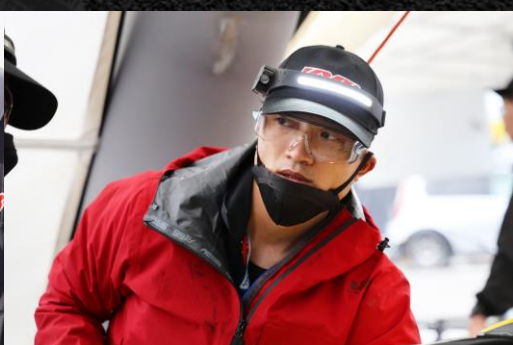


PHOTO GALLERY



DRIVER 石黒 一暢 - Ishiguro Motonobu -



久々のターマックラリーということで、2日間にわたる事前テストを計画し、まずは感覚を取り戻せるよう準備を進めてまいりました。車両については、これまで走りにくさを感じていた部分を改善するため、サスセッティングのアイデアをいくつか試し、好感触を得て本戦に臨みました。

レッキでは晴れていたものの、本戦はあいにくの雨となり、滑りやすい路面に翻弄されながらも着実に走破しました。焦らず少しずつペースを上げ、自分たちのリズムをつかんでいきました。ステージによってはペースを改善できたところもあり、次戦につながる確かな手応えを得られたように思います。また、多くのクルーがクラッシュする難しいコンディションの中で無傷で完走でき、安定感が戻ってきていることも実感しました。

次戦は、カヤバにとって地元といえる岐阜・高山で開催されるハイランドマスタースです。例年どおりであれば雨も予想されますが、今回得た手応えを生かし、難しいコンディションにも臆せずしっかり走りたいと思いますので、熱い応援をよろしくお願いいたします。

Co-DRIVER 穴井 謙志郎 - Anai Kenshiro -



前2戦のグラベル（未舗装路）ラリーを経て、今大会から再びターマック（舗装路）ラリーに戻りました。福島県での全日本ラリー開催は2018年以来となり、伊達市での開催は今回が初です。初開催のため各チームとも過去データがなく、ペースノートの精度が非常に重要な一戦でした。また、ターマックではグラベルに比べてリーディングのリズムも速くなるため、大会前にしっかりと頭を切り替えて臨みました。

今年は雨のラリーが多く、滑りやすい路面の攻略に苦戦してきた我々としては晴天を期待していましたが、今回もまた雨に苦しめられる展開となりました。車両トラブルも重なり、思うように競技を進めることはできませんでしたが、コントロール性を重視して煮詰めてきた車両セッティングが功を奏し、車両を大きく損傷させることなく無事完走することができました。安定感は着実に戻ってきているので、ここから改めて速さも追求できるよう、コ・ドライバーとしてしっかりサポートしていきたいと思います。次戦はカヤバがメインスポンサーを務める地元・岐阜ラウンドです。安定感と速さを両立できるよう、全力を尽くして臨みます。

MECHANIC 三國 大河 - Mikuni Taiga -



今回のラリーは「伊達市合併20周年記念事業」の一つとして開催された華やかなイベントであり、チームとしても初めて訪れる土地で、新鮮な気持ちで臨みました。事前テストで検討したセッティングを本番でも確認しながら、変化する路面状況や車両の状態に合わせて対応し、最後までチーム一丸で戦うことができました。

4年間にわたりラリーメカニックを務めてきましたが、新メンバーとの入れ替わりに伴い、私にとって今回が最後のラリーとなりました。前半戦から新メンバーへの引継ぎを始め、本番中もともに作業を行ってききましたが、短期間のうちに一つひとつ仕事を身につけ、着実に成長している姿を心強く感じています。チームの雰囲気も新しいメンバーとともに少しずつ変化しており、これまで築いてきたものを受け継ぎつつ、新しいチームとしてさらに進化していくことを期待しています。4年間の活動を通じて多くの経験をさせていただき、チームの一員としてラリーに携われたことに感謝しています。これからは少し離れた立場からチームの活躍を楽しみにしています。引き続き、カヤバラリーチームへのご声援をよろしくお願いいたします。

NEXT RALLY

10/16～18 岐阜県高山市

第53回M.C.S.C.ラリーハイランドマスタース2026 supported by カヤバ

Special Thanks

IK 伊勢湾海運株式会社

CHITA

Takako

Fukoku Tokai

山二産業株式会社

Taiyo 大洋商事

カーメック

株式会社サイキ

OGISON

株式会社 甲山製作所

HJK 株式会社平原精機工業

TOSHIDA KOGYO CO., LTD.

UTSUE UTSUE SEIKI CO., LTD.

NSSI NAKAGAWA SPECIAL STEEL INC.

三正工業株式会社



株式会社 東海技研

金山カヤバ株式会社

Covalent

IKO 日本トムソン

株式会社 興亜組

林愉快 研究所

AIDO METAL

自由工業

宝駒鍍金工業株式会社

NUTAHARA RALLY SCHOOL

YOKOHAMA

KTMS

HKS

BRIDE

LAILE

CERAMETA

MOTOR SPORTS OIL FORTEC

PIAA

AQTEC INTERNATIONAL

BELL HELMETS

TONE

Mizuno

SPK GROUP

TOL ADVANCE TANGAKU CHEMICAL LABORATORY

PROSPEC

カヤバラリーチームの活動は
各種SNSにて発信しています。



@KAYABA_KYB



@kybcorporation



@kyb_official

KYB
Our Precision, Your Advantage

カヤバ株式会社